
異世界で～す。

雄輔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界です。

【コード】

N0089D

【作者名】

雄輔

【あらすじ】

題名通りだぜ。と思いきや違ったりしそうな予感もないことないよ。

前はもっと長い題名だったのに、字数が多すぎて駄目だった。(前書き)

あゝ。

前はもつと長い題名だったのに、字数が多すぎて駄目だった。

「努力すればどうにかなるよ。」

「いつもそればっかじゃん。たいして変わんないし。努力したって、無理なものは無理だよ。」

「でも、努力すればいつか報われるよ。」

こいつはいつも俺にこう言う。

確かにこいつはいい奴だ。

でも、こいつにこれを少し言われるとむかつく。

「分かった。分かった。ある程度は頑張るよ。」

「ああ。頑張ることはいいことだよ。」

「ただいま。」

「おかえり」。嚙刀荷物届いてるよ。」

「分かった。」

荷物って何だろう？

部屋に入って見ると、小包があった。

宛名がなかった。

不思議に思ったが、中を開けてみた。

中には……変なスイッチが入っていた。

よく見ると紙もあった。

紙を見ると、こう書いてあった。

これが届いた者に言う。

このスイッチは、異世界への扉だ。

これを押せば、異世界に行ける。

異世界には、どんな願いもかなえられる宝石がある。

但し、一度異世界に行ったら、宝石を獲得し、願いを叶えるま

で帰れない。

この小包は、一週間後消える。

その間に決めるがよい。

最後に健闘を祈る。

と書いてあった。

途中で破り捨てたかったが止めた。

まあ、一週間無視すれば、消えるからいいだろう。
寝る。

つと、その前に。

俺の名前は鈴木 嚙刀。

よろしく。

前はもっと長い題名だったのに、字数が多すぎて駄目だった。(後書き)

ああ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0089d/>

異世界で～す。

2010年10月28日03時06分発行